

第1号  
平成16年8月31日  
発行  
ボランティア・NPO  
情報紙編集委員会

# ボランティア・NPO 情報紙なると

連絡先  
鳴門市ボランティア  
連絡協議会・  
☎685-7170  
鳴門市市民活動推進課  
☎684-1189

## 新NPO法人が誕生

かねてより法人設立の準備を進めてきた2つのボランティア団体「ボランティア鳴門西」と「mini れすぱいと」が、新しくNPO法人に認証され成立いたしました。これで当市のNPO法人は全部で12団体となります。どうぞよろしくお願いいたします。

### 「ボランティア鳴門西」



ボランティア活動中の会員の皆さん

### 「mini れすぱいと」



NPO 認証取得の報告会

事務所 鳴門町高島字北86番地  
鳴門公民館内  
☎687-1528

理事長 柏原正樹  
活動分野 福祉・まちづくり・環境保全  
子どもの健全育成

事務所 撫養町小桑島字前浜140番地  
☎685-0676

理事長 岡山智美  
活動分野 福祉・子どもの健全育成

## 発刊にあたって



鳴門市長  
亀井俊明

私たちの社会環境は、情報化、国際化、少子高齢化の進展に加え、個人の価値観や生活スタイルの多様化などにより、急速に変化しています。また行政においても地方分権の進展や長引く不況に伴い、大きな変革期を迎えました。地域社会のニーズや課題も多岐にわたり、従来の社会システムでは十分に対応できない状況も生じております。

皆様方のボランティア団体やNPO法人が、それぞれの社会貢献活動を通じて、こうした地域社会のニーズや課題に機動的かつ

きめ細かく対応されておりますことに、日頃より心から感謝と敬意を表しているものでございます。

鳴門市におきましては、このほど第五次鳴門市総合計画を策定し、「交流と協創」を基本理念とした社会づくりを目指しています。その重要な施策の一環として、市民の皆様との協働を掲げており、より一層推進するため、鳴門市ボランティア連絡協議会とともに「ボランティア・NPO情報紙なると」を発刊することになりました。

皆様方には、この情報紙を十分にご活用いただき、市民活動団体相互の連携、および行政と市民活動団体との協働が一層進展されることをご期待申し上げまして、情報紙発刊にあたっての言葉といたします。



## 鳴門市社会貢献活動促進条例（仮称）の制定に向けて

市民活動が発展する中で、徳島県は本年3月に「徳島県社会貢献活動の促進に関する条例」を制定し、4月1日より施行しています。鳴門市も社会貢献活動をより一層促進することにより、市民の参加と協働による夢と希望と活力に満ちたまちの実現のために、「鳴門市社会貢献活動の促進に関する条例（仮称）」の制定を目指しています。

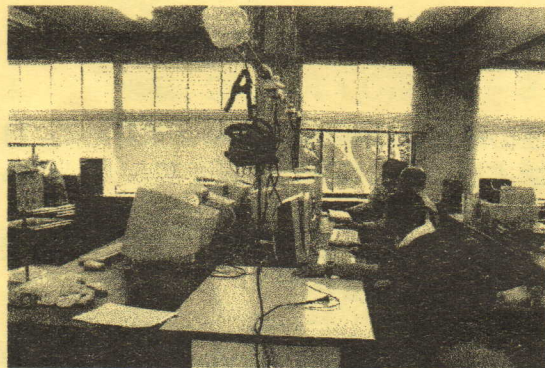
条例にできるだけ市民の意向を反映させるため、広く意見をお聴きする懇話会を設置し、8月6日、第1回目の会合を開催しました。懇話会は10人の委員から成り、ボランティア団体、NPO法人、コミュニティー団体、社会福祉関係組織、社会教育団体、商工団体の各代表者等で構成されています。



第1回懇話会で話し合う委員たち

第1回目は、趣旨説明や委員の紹介、各団体の活動状況や課題が発表されました。次回は①各団体の今後の活動方針②社会貢献活動の促進に望まれること③条例に反映させたいこと、などが検討されることになっています。

### 新活動拠点を開設



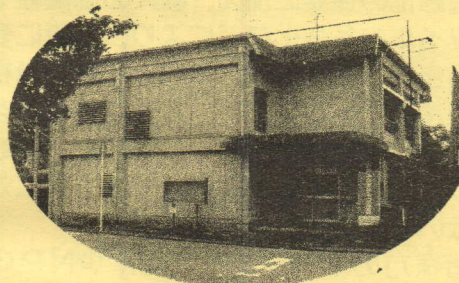
パソコン再生工場

このたび鳴門市の亀井市長様をはじめ皆様のご理解とご助力により、鳴門市役所旧堀江出張所の1階を、私どもの活動拠点として有償で使用させていただくことになりました。

ここで市民の皆さんなどから譲り受けたパソコンを再生し、障害者らに無償で貸

特定非営利活動法人  
JCI Teleworkers' Network  
理事長 猪子和幸

し出す「パソコンリサイクル事業のための再生工場」としての作業を開始しています。また、鳴門市在住の障害者や高齢者、育児中の主婦などを対象としたIT講習会を計画・実施し、地域の方々に貢献できる活動を展開していきたいと考えています。



旧堀江出張所1階に開設された  
JCI活動拠点



ぜひご参加ください

ボランティア鳴門西

「EM広場なると西」

EM(有効微生物群)の活用事例の報告や情報の提供

日時: 9月18日(土) 13:30~15:30  
10月16日(土) 13:30~15:30

場所: 鳴門公民館《鳴門町高島北》

連絡: ①参加希望者は鳴門公民館へ  
(☎687-1528)

- ②会員以外、地域外の方歓迎
- ③EM活性液を無料で配布

賀川豊彦記念・鳴門友愛会

「戦争と平和について考える」

三世代交流会

日時: 10月23日(土) 9:30~12:00

場所: 鳴門市賀川豊彦記念館  
(大麻町松)

内容: 戦争体験談および中学生の戦争と平和に関する意見発表をもとに、三世代で戦争と平和を考えるディスカッションを行う

mini れすばいと

「入会案内・ボランティア募集」

れすばいとサービスとは「障害のある人の親・家族を一時的に解放して、心身ともにリフレッシュしていただくために、障害がある人を一時的にお預かりし、家族に代わって介護を行う」サービスのことです。

私たちの活動はボランティアで支えられています。

連絡先: 撫養町小桑島

☎ (090) 3783-7364 岡山

地域交流の会コスモスほうす

「創立記念祭お食事交流会」

日時: 9月26日(日) 11:00~

場所: コスモスほうす(大麻町板東)

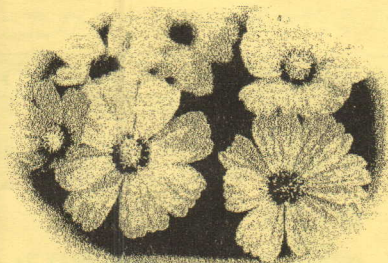
会費: 600円

連絡: 昨年11月より訪問看護事業を始めました。ボランティアで手伝ってくださる方を募集しています。短時間でも結構ですので、ご協力いただける方はご連絡ください。

(☎689-2510 または 689-0417)

(地域交流の会コスモスほうす)

NPO法人の行事予定



ふくろうの森

「図書館ボランティア活動」

☆「源氏物語講座」図書館2F

9月15日(水) 13:30~15:30

☆「俳句を作ってみませんか?」

図書館2F

9月22日(水) 13:30~15:30

☆「草木染体験」

鳴門市老人趣味の作業室

10月3日(日) 13:00~15:00

☆「源氏物語講座」図書館3F

10月13日(水) 13:30~15:30

☆「若い父母のための絵本入門」

図書館2F

10月16日(土) 10:00~12:00



## ボランティア募集情報

### 鳴門授産センター「地域清掃グループ」

住所 大麻町板東字中谷 8-4  
連絡 大麻福祉の町 鳴門授産センター  
☎ 689-2828  
FAX 689-2817  
内容 除草・空き缶拾い等の清掃活動  
ボランティア事業参加 リサイクル運動  
場所 地元地域の道路  
板東谷川（リサイクル山田との共同作業）  
日時 毎月 10 日 リサイクル活動（時間未定）

### 得々情報

・ボランティア活動の会議等で会場にお悩みの団体に無料で当施設の会議室（交流スペース）を貸し出しいたします。利用される団体は、当施設までお問い合わせください。

### 声の広報製作グループ「はまぼう」

住所 大津町吉永 50  
連絡 代表者 中内 美代子  
☎・FAX 685-3752  
内容 広報・議会だより吹き込み・送付  
場所 鳴門市老人福祉センター 1 階ボランティアセンター  
日時 月末～月始め



### ユア・ハート 21

住所 大麻町板東字広塚 43  
連絡 草の実学園ユア・ハート事務局  
☎ 689-1381  
689-1052  
FAX 689-1035  
内容 施設利用者への支援活動  
近隣地域での利用者とともに活動  
各種交流活動・研修活動など

### 筆記通訳「めだか」

住所 大津町矢倉字六ノ越 66-6  
連絡 代表者 林 明 実

☎・FAX 686-9031

内容 市主催行事・民間団体主催の行事  
定例会および勉強会  
場所 身体障害者会館・各行事の開催場所  
日時 2か月に1回  
ほか必要に応じて随時活動  
年会費 1,000 円



※筆記通訳（要約筆記）とは、手話を利用してできない聴覚障害者に対して、日本語を利用して話を伝えるために、オーバーヘッドプロジェクター（OHP）という投影機を利用したり、ノートを使用したりして情報を伝えることです。

ただし、一定時間の講習が必要です。

### NPO 法人 賀川豊彦記念・鳴門友愛会

住所 大麻町松字東山田 50-2  
連絡 鳴門市賀川豊彦記念館  
☎・FAX 689-5050  
内容 1, 窓口業務手伝い（入館料徴収・案内リーフレット手渡し等） 2, 展示資料管理 3, 記念館資料目録製作手伝い 4, 記念館周辺の整備（清掃活動・庭づくり草取り等） 5, 鳴門友愛会員となって館の運営に参加  
日時 通常午前 10 時～午後 3 時（その他特定の日）

### NPO 法人 ふれあい福祉の会 山びこへるび

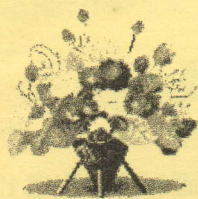
住所 瀬戸町小島田字船隠 84-1  
連絡 山びこへるび  
☎ 688-2930  
FAX 688-2935  
内容 高齢者・障害者（児）その他困難を抱える家庭への在宅福祉サービス等「小さなお手伝いから」支援活動をめざして



場所 鳴門市内一円（原則として）  
日時 月曜日～土曜日（日曜・祝日は休み）  
気がねなくご利用していただけるように「チケット制」になっております。



## 社会貢献活動は時代の豊かさを計るバロメーター



戦後、民主的社会を目指した日本は、確かに社会生活を豊かにしてきたことは、誰もが認めるところではないかと思えます。

とりわけ物に対する豊かさは、想像以上の速度で私たちの欲望を満たしてくれているといっても過言ではないでしょう。

こうした物の豊かさとは反比例するかのよう、心の豊かさが目に見えて損なわれつつあること、また幸せに生きたいと願いながらも常に一抹の不安を感じながら生きなければならない社会になっていることに気づき始めているのが、今日の社会ではないかと思えます。私たちは決してこんな社会を望んでいるわけではありません。

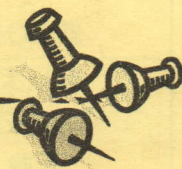
しかしながら、この「現実」はまさに私たちに突きつけられている「現実」であり、これを無視して生きられないのが今日の私たちが置かれている状況であろうと思えます。自分たちの生きている社会に対して無

鳴門市ボランティア連絡協議会  
副会長 太田 晴清

知と無関心で接した結果が今日の社会を生み出したとしたら、私たちは明日からとは言わず今日から新たな姿勢を模索すべきではないでしょうか。その一つの行動がボランティア活動であり、NPO活動であっていいと思うのです。自分たちの住んでいるこの町にこだわり、そして、そこに生きている人々にこだわることによって、初めて自分たちの生きている「現実」の社会が見え始めてきます。私たちの周り、どの人も「幸せに生きたい」と必死でがんばっていることに気づくはずで

「社会」とは、いつの時代も未成熟だと思います。その時代に生きる人たちがその未成熟さに気づき、どう関わるかによってその「社会」が豊かであったかどうか評価されるのではないのでしょうか。

ボランティア活動やNPO活動といった社会貢献活動は、まさにその時代の豊かさを計るバロメーターだと思います。



### 「市民への説明」内閣府「NPO法の運用方針」より

NPO法は特定非営利活動法人の自主性・自立性を尊重する観点から、さまざまな形で行政の関与を極力抑制することが特徴となっています。

すなわち、設立手続きにおいて認証主義をとるとともに、NPO法人は自らに関する情報をできるだけ公開することによって市民の信頼を得て、市民によって育てられるべきであるとの考えがとられています。しかしながら最近、こうした法人取得の方法が簡便なNPO法人制度において、認証基準を満たしているかどうかの判断が難しい申請や、この制度を悪用するようなケースが見られます。そこで内閣府としては、①必要不可欠な最低限の運用上の判断基準を明確化するとともに、②NPO法人の説明責任と市民による選択、監視機能の一層の充実を図るため、NPO法人自らが広く市民に対して自主的に説明を行うことを要請する——運用方針を明らかにすることにしました。

特に後者の「市民への説明要請」は、認証段階で何らかの法令違反が推認される場合や、監督段階で報告徴収・立入検査・改善命令の対象と成り得る要件が認められた場合に実施することになっています。ただし、これはあくまでも自主的なものであり、要請



に感じなかったということだけで不利益に取り扱われることはありませんが、国においては市民と当該NPO法人との間において、自由活発な論議がなされる土壌をつくることの重要性に鑑み、今後活用していくようです。(編集部)

## お知らせ

### ● 第9回うずしお福祉フェスティバル

期日：2004年10月31日(日)  
午前9時30分～午後4時

会場：鳴門市文化会館ほか

内容：\*イベントコーナー、福祉レクリエーション、模擬店コーナー、バザー&フリーマーケット、ボランティア体験コーナー



\*障害者・高齢者の福祉生活展および文化作品展

\*相談コーナー など

### ● 姉妹都市盟約30周年記念友好コスモス祭り

鳴門市花街道・地域づくりネットワークが、鳴門市とドイツのリューネブルグ市との姉妹都市盟約30周年を記念して開催します。



【コスモスの観賞】

会期：2004年10月9日～31日

会場：市内60か所

【交流・接待】

飲み物のもてなしや花の種のプレゼントがあります。

会場：市内20か所

期日：接待所により異なる

【コスモス街道・鳴門のまつり等の周遊バス】

期日：10月23日(土)

内容：コスモス街道一周(接待所で休憩)途中で鳴門のまつり、子どものまちフェスティバル見学

料金：850円(予定)

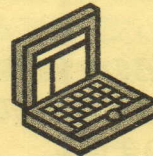
申し込み・問い合わせ：花街道事務局

村元(☎686-0034 FAX686-1313)

## 助成金情報メモ

助成金に関しては、昨年各NPO法人にお送りした資料「活動資金確保の手引き」(損保ジャパン記念財団)に詳しく説明されていますので、改めてご覧ください。

情報は毎年発行されている「NPO・市民活動のための助成金応募ガイド」(助成財団センター)に集大成されていますが、手軽な入手先として最も充実しているのは、インターネットのホームページです。



主なNPO支援センター(シーズ=市民活動を支える制度をつくる会、大阪NPOセンター、徳島県

民活動プラザ…)や、財団法人助成財団センター、社会福祉協議会・ボランティアセンターなどに紹介されています。

膨大な情報があふれる中、①他より早く入手して応募すること、②知名度の低い財団を狙うこと…が助成金を獲得するコツだといわれています。

## あとがき

あらかじめお願いしてありましたところ、多くの団体からたくさんの原稿を寄せていただきました。誠にありがとうございました。

第1号ではすべてを取り扱うことはできませんでした。時間的制約のないものは次号以降に掲載させていただきます。

ご理解の上、引き続き投稿にご協力くださいますようお願いいたします。(編集委員会)